

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	レジ袋等削減推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、ごみの発生抑制に向けた取組として、事業者、市民団体、市の三者により、レジ袋等の削減に関する協定を締結し、協働してレジ袋の削減を推進する。引き続き、事業者に対し、協定への参加の呼びかけを行い、賛同を得られた事業者と協定を締結する。			
年度概要	協定事業者と協力し、レジ袋だけでなくマイボトルの推進とプラスチックごみの削減を図るため、啓発キャンペーンを実施する。			
重点取組事業		市長マニフェスト	2・⑥	事務事業の類型

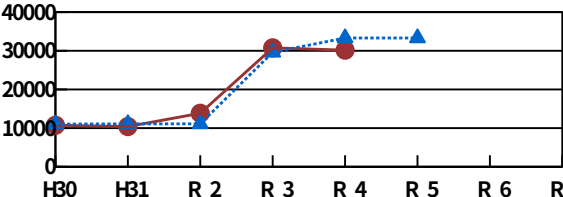
【事業の目的】

対象（何を）	市内のスーパー、ホームセンター等の事業者
意図（どのような状態にしたいか）	レジ袋等削減の協定事業者の買い物袋持参率（レジ袋削減率）を向上させ、レジ袋等の削減を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 協定締結事業者の年間平均レジ袋削減率	%	37.4	83.1	81.5		90
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標①	協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数	千枚	目標値	11,103	29,608	33,309	33,309	33,309
			実績値	13,842	30,755	30,163		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 協定締結事業者の年間平均レジ袋削減枚数は、令和2年7月からのレジ袋有料義務化により、令和3年度にかけて急激に増加したが、令和4年度はほぼ横ばいとなったため、目標値には至らなかった。 （目標達成度） 						(達成度) 90.6% 31点	
成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標②			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	2,245	2,265	2,245	2,245
（事業費）	〔千円〕	0	0	0	0
（職員人件費）	〔千円〕	2,245	2,265	2,245	2,245

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和2年7月からのレジ袋有料化により、マイバッグの持参率は大幅に向上した。今後もこの傾向を維持していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
協定事業者と協力し、レジ袋だけでなくプラスチックごみ削減の働きかけを強化し、事業の見直しを検討する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	
	事務事業	事業系ごみ減量推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシティたかまつ優良事業者として表彰する。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者やエコシティたかまつ優良事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況をホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。				
年度概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシティたかまつ優良事業者として表彰する。5年度は表彰基準を見直した上で、表彰を行う予定である。また、上記の取組状況や地球にやさしいオフィス・店の登録事業者を、ホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型		

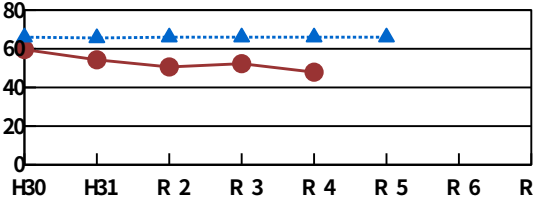
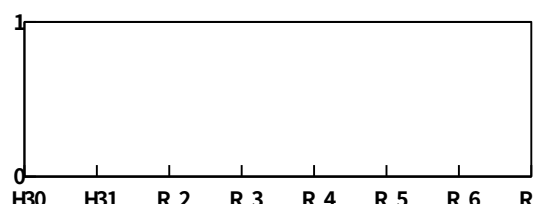
【事業の目的】

対象（何を）	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者及び事業者が排出する事業系一般廃棄物
意図（どのような状態にしたいか）	対象事業者に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の作成及び計画の実行に取り組んでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 一般廃棄物減量等計画書受付件数	件	331	339	325	270	270
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率		%	目標値	66	66	66	66	66	
			実績値	50.6	52.3	47.9				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとし、リサイクル率の増加を目指したが、リサイクル率は減少し、目標を下回った。		(目標達成度) 		 H30 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7					(達成度) 72.0%
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
				目標値						
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)		 H30 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	3,764	3,791	3,742	3,771
（事業費）	〔千円〕	23	16	0	29
（職員人件費）	〔千円〕	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 4年度は表彰制度を見直す検討期間としたため、廃棄物減量等計画書の取りまとめ及び公表のみを行った。リサイクル率は低下しているため、取組内容を見直し、実効性のあるものとする必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとしており、リサイクル率の増加が図られるよう対象事業者への働き掛けを継続しつつ、目標達成に向けた具体的な対策を検討する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	食品ロス対策等推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	食品ロス（本来食べられるのに捨てられる食品）の削減を始めとする食品廃棄物の減量・再資源化を推進するため、県と連携しながら、環境・身体・家計にいいライフスタイルであるスマート・フードライフに関する市民意識の向上を図る。食品ロスの実態及び取組状況を把握するとともに、食品ロス削減や「3きり」に関する周知・啓発により、市民の取組を促進するほか、事業者等とも連携した取組を推進する。				
年度概要	・市民アンケート調査の実施 ・啓発リーフレットを活用した食品ロス実態及びその削減並びに「3きり」の周知・啓発 ・フードドライブの実施 ・フードドライブ支援事業 ・啓発環境学習等開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	2-⑦	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

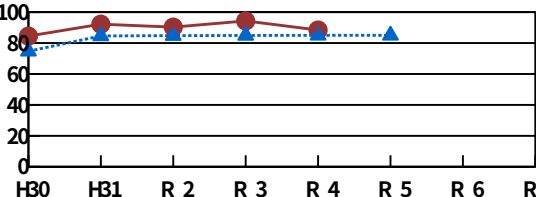
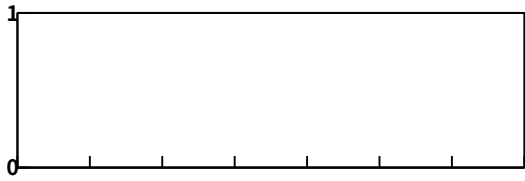
【事業の目的】

対象（何を）	食品ロスに対する市民意識及び食品廃棄物の発生量
意図（どのような状態にしたいか）	食品ロスに対する市民意識が向上し、食品廃棄物の発生量が減少する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 食品ロス実態調査の実施回数（延べ数）	回	2	2	2	2	2
② 食品ロスに関する市民アンケート調査実施件数	件数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	食品ロス認知度	%	目標値	84.8	84.9	85	85	85
			実績値	90.3	94.3	88.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民アンケート結果の有効数からは、目標を上回る結果となった。	(目標達成度)						
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	4,996	4,557	3,818	3,918
（事業費）	〔円〕	1,255	782	76	176
（職員人件費）	〔円〕	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） フードドライブ、スーパーマーケットキャンペーン等事業者との連携を行うなど、食品ロスの周知啓発を推進した。今後も、継続した啓発事業の展開が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 引き続き、県と連携しながら、家庭や事業者の協力のもと、積極的な事業展開を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	プラスチックごみ対策事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	世界的な問題となっているプラスチックごみを削減するため、国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、市民に対し、リデュース・リユースの2Rを中心に、市民等に積極的な情報発信や学習機会の提供を行うほか、燃やさない本市指定収集袋等については、バイオマスプラスチックの導入について、調査・検討する。また、プラスチック資源循環促進法に基づく製品プラスチックの再商品化について、検討を進める。				
年度概要	①「高松市プラスチック・スマート運動」の展開等・啓発パネルの展示・海岸でのフィールドワーク活動・給水用のウォーターサーバーの設置・啓発キャンペーンの開催・ごみ処理工場の見学会の開催 ②市指定収集袋へのバイオマスプラスチック導入検討 ③プラスチック資源循環促進法への対応検討				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-⑥	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市民、市内のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等の小売店などの事業者
意図（どのような状態にしたいか）	使い捨てプラスチック製品の使用を削減するなど、プラスチック資源循環を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 啓発パネル展等開催件数（累計）	件	8	27	53	50	50
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	プラスチック容器包装ごみの再資源化割合（家庭ごみ）	%	目標値				79.6	84.9
			実績値				83.9	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和3年度のプラスチック容器包装ごみの再資源化割合（家庭ごみ）は83.9%で、目標を達成した。	(目標達成度)						(達成度) 105.4%
						</		

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	7,841	8,027	4,027	3,988
（事業費）	〔千円〕	359	477	285	246
（職員人件費）	〔千円〕	7,482	7,550	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
プラスチック製品由来の廃棄物が世界的に問題となっている中で、持続可能な循環型社会の形成に向けて、市民や事業者などと幅広く連携してライフスタイルの変革を促し、プラスチックごみの削減につなげていく必要がある。また、プラスチック資源循環促進法が令和4年4月1日に施行され、製品のライフサイクル全般でプラ資源循環の促進に向けた対応が必要である中、地方自治体として担う役割の推進に取り組む。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、積極的な情報発信や啓発活動を実施する。また、製品プラスチックの再商品化やバイオマスプラスチックの指定収集袋の導入を目指すための検証と検討を進める。			